

100周年記念おさらい会 135名の観客を魅了



▲おさらい会で華麗な舞台を披露した藤乃会の皆さん

11月23日、金山町農村環境改善センター多目的ホールで、第5回日本舞踊藤間流 藤乃会の「おさらい会」が開催されました。会には約135名が出席し、約3時間の舞台発表を楽しみました。プログラムの最後には会主の栗田満さん(杉沢)による俵屋玄蕃が披露され、堂々と美しい踊りで観客を魅了しました。栗田満さんは、「来年は藤乃会創立35周年。今まで以上に大きな舞踊公演を開催し、多くの人を喜ばせたい」と熱意を語ってくれました。

安心して水道を使ってほしい 蛇口の無料点検を実施



▲無料点検ボランティアを実施した業者の皆さん

11月23日、金山町上下水道工事指定業者の皆さんが、町内の1人暮らし高齢者約180世帯を訪問し、蛇口の無料点検を行いました。「厳しい冬を迎える前に水道の点検を行い、不安なく過ごしてほしい」との想いから平成30年から始まり、今年で7回目になりました。奉仕活動に参加したのは、日本衛生工事(株)新庄営業所、小林水道工事店、(有)永山設備、金山農業協同組合、(株)丸和建設工務店、合同会社越尾設備、今田住設の7事業者です。誠にありがとうございました。

「山の神の勸〜進!」 三枝地区で歌声高らかに



▲山の神勸進の様子

12月8日、三枝地区(大又)で江戸時代から続く伝統行事「山の神勸進」が行われ、8名の子どもたちが、神社から御神体を運び、約30軒を訪問しました。訪問した玄関先では五穀豊穡や家内安全を願う歌が歌われました。近年、子どもの人数が減り、伝統行事が途絶えそうになりましたが、今年も地区の方々の理解と協力のおかげで危機を乗り越え、子どもたちの文化の学びと交流の機会が維持されました。

心もお腹も大満足 羽場地区餅つき交流会



▲石臼と杵で餅をつく羽場地区の子供たち

11月24日、羽場地区公民館で餅つき交流会が開催され、今年は地区住民約50名が参加しました。交流会では集まった子ども達が地区のお父さんと一緒に石臼と杵でお餅をつき、地区のお母さんが雑煮やあんこ、納豆、きな粉の4種類のお餅を作り、参加者にふるまいました。交流会に参加した佐藤優笑さん(羽場)は「杵が重かったけどがんばった。みんなでついた餅が柔らかくておいしかった」と感想を述べてくれました。

日ごろの取組みに感謝を込めて 輝け! すぎのこ地域文化賞 贈呈式



▲感謝状贈呈式に参加した皆さん

11月29日NPO法人すぎのこハウス(代表理事 岸 隆一)で第4回「輝け! すぎのこ地域文化賞」の贈呈式が開催されました。この賞は障がいのある方や子供たち、高齢者の方々の健やかな暮らしを支え、地域振興の向上に尽力された個人や団体に贈られるものです。今年度は沼澤道也さん(片貝)が「ギターをのサンタさんは町民すべての人を愛してくれるで賞」、庄司文明さん(板橋)が「スイーツは皆を幸せにしてくれることを教えてくれたで賞」、鈴木商店さん(新庄市)が「地球に優しく人にやさしい愛があふれる人で賞」を受賞し、感謝状と記念品が贈られました。

設立30周年記念金山地域区長サミット拡大研修会 佐藤町長による基調講話を開催



▲佐藤英司町長による地域づくり基調講話の様子

11月29日、羽場地区公民館で「令和6年度金山地域区長サミット拡大研修会」が開催され、金山地域の区長や役員、役場職員40名が参加しました。サミットでは佐藤英司町長が「町制施行100周年を迎えて」をテーマに町の現状や課題、予算の執行状況、今後の展望などについて地域づくり基調講話を実施しました。その後の情報交換会では町の重点事業や施策について活発な意見交換が行われました。

ゼロカーボンシティ宣言にチャレンジ 金山中で環境教育学習を実施



▲環境教育学習の様子

11月25日、「金山町のゼロカーボンシティ宣言にチャレンジしよう」をテーマに、NPO法人かねやま電雪理事の水戸部秀利氏による学習会が金山中学校1年生を対象に開催されました。エネルギー(電気)の地産地消や再生可能エネルギーを導入することの重要性を学んだほか、足踏み発電機を使用して電気を発電させる体験も行いました。水戸部氏は「ゼロカーボン是我慢ではなく、未来を豊かにするもの」と語られ、生徒たちは楽しみながら環境に対する理解と関心を高めました。

J2リーグで奮闘 モンテディオ山形の選手が表敬訪問



▲坂本巨基選手(左)、須藤信一教育長(中央)、西村慧祐選手(右)

11月15日、J2リーグで4位と奮闘したモンテディオ山形の西村慧祐選手(千葉出身)と坂本巨基選手(熊本出身)が表敬訪問のため来庁しました。西村選手と坂本選手は、それぞれの経験やチームの目標について語り、サポーターや地域の支援への感謝を須藤信一教育長に伝えました。また、サイン入りのグッズとともに特製の旗を贈呈していただきました。この訪問は、選手たちの活躍を称えるとともに、金山町とモンテディオ山形とのつながりを深める貴重な機会となりました。

職員の安全意識と対応力を向上 金山町役場 火災防護訓練



▲抜き打ちで実施された火災防護訓練

11月18日、金山町役場で火災防護訓練が開催され、町職員約40名が参加しました。職員を対象とした火災防護訓練は、職員の安全意識や、迅速な対応力の向上を目的に毎年開催されており、今年度は新庁舎一階給湯室からの火災を想定し、実施されました。火災防護訓練では、火災が発生した場合の持ち出し品の確認や、負傷者の救助方法、消火器を使った消火訓練が行われ、火災発生時の具体的な行動や手順を学ぶとともに、防火意識の強化と緊急時の冷静な判断力を養いました。

町道除雪安全祈願を実施 金山町の冬を守ります



▲今年度の除雪作業員20名と佐藤英司町長

12月2日、町除雪ステーションで町道除雪作業班の安全祈願祭を開催し、班員20名と町関係者がシーズン中の作業の安全を祈願しました。井上秋彦班長(地境)が「除雪作業の重要性を十分に認識し、安全で安心な道路環境を確保するため体調管理に留意し、交通規則を遵守して作業に務めたい」と意気込みを語り、佐藤英司町長が「連携を図りながら、安全で事故の無いように作業に取り組んでほしい」と激励の言葉を贈りました。

消費生活出前講座を開催 詐欺被害に対する意識を高めました



▲消費生活出前講座の様子

11月6日、金山町地域福祉センターやくし苑で「消費生活出前講座」を開催し、さわやかサロンに参加した20名が受講しました。山形県消費生活センターの相談員を講師にお招きし、高齢者を狙った消費者詐欺の事例や対策方法についてご講演いただきました。出前講座に参加された方々は時折うなずきながらも、特殊詐欺の危険が身近にあることを知り、真剣な表情で講演を聞きました。詐欺被害は、近年ますます深刻な問題となっており、私たちの身近でも頻繁に発生しています。今回の出前講座では、詐欺被害に対する意識を高め、被害を未然に防ぐための有意義な会となりました。

やまがた緑環境税を活用した 地域森林学習事業を開催



▲地域森林学習に参加した7名

11月8日、金山町内の森林において「やまがた緑環境税」を活用した、「地域森林学習事業」を実施しました。この活動は、地域森林資源や森づくり活動への関心を高めることを目的としており、当日は金山杉の樹高や胸高直径などを測定する毎木調査を行いました。金山町森林組合を中心に、東北農林専門職大学1年生7名が参加し、樹高の測定に苦戦しつつも、班員と連携しながら調査が進められました。